

あいかわ 議会だより

第 171 号

令和3年12月15日発行

責任者 議会議長 渡辺 基
年4回発行・本号20ページ



おやつ時間サイコー!! (くれよん保育園)



風の丘で黄昏れる♡可愛い背中たち

「あいかわ・ほっこり写真館」

～議員撮影～



第1号公園の
大型遊具で遊ぶ姉弟



みんなそろって誕生日会

- ・新しいスタート! 議会役職人事決定 P. 2・3 月スマホで簡単♪
- ・令和2年度各会計決算を認定 P.10
- ・国へ意見書2件を提出 P.11
- ・「アンケート」結果報告 P.18・19 議会クイズ(P.19)



〈第3回9月定例会・第2回11月臨時会〉

人事決定

各常任委員会など



木下真樹子 副議長



渡辺基 議長

※議席番号順



鈴木 信一
2期目
日本共産党
愛川町議員団



玉利 優
2期目
あいかわの聲



茅 孝之
1期目
令和あいかわ



岸上 敦子
2期目
公明党



馬場 司
5期目
令和あいかわ



井出 一己
4期目
公明党



小林 敬子
5期目
日本共産党
愛川町議員団



熊坂 崇徳
3期目
あいかわの聲

◎委員長 ○副委員長 (敬称略)

総務建設常任委員会 (委員定数 8人)	
◎ 鈴木 信一	○ 井出 一己
茅 孝之	熊坂 崇徳
小林 敬子	馬場 司
小島 総一郎	渡辺 基

議会運営委員会 (委員定数 8人以内)	
◎ 熊坂 崇徳	○ 小林 敬子
岸上 敦子	井出 一己
鈴木 信一	茅 孝之
阿部 隆之	山 中正 樹

11月5日に、令和3年第2回愛川町議会臨時会が開かれました。この臨時会では、正副議長をはじめ、議会選出監査委員、議会運営委員会委員、議会改革推進特別委員会委員及び各常任委員会委員の選任などを行いました。

第2回 臨時会

議長に渡辺 基氏 副議長に木下真樹子氏

監査委員は、識見を有する者と議会議員で構成しており、議会議員で構成した委員に佐藤りえ議員を選任することに同意を求



佐藤 りえ 監査委員

監査委員

議会役職

正副議長、議会運営委員会、

める議案が提出され、賛成全員で同意しました。

その他人事関係

◎厚木愛甲環境施設組合議会議員の選挙

申し合わせの任期満了に伴い、厚木愛甲環境施設組合議会議員の選挙が行われ、渡辺基議長、鈴木信一議員、阿部隆之議員、山中正樹議員の4人が選出されました。

令和3年11月9日時点

会派構成 (◎は代表者)

公明党	◎井 出 一 己 岸 上 敦 子	佐 藤 り え
日本共産党 愛川町議員団	◎鈴 木 信 一 井 上 博 明	小 林 敬 子
あいかわの聲	◎熊 坂 崇 徳 玉 利 優	渡 辺 基
令和あいかわ	◎阿 部 隆 之 茅 孝 之	馬 場 司
あすかみらい	◎山 中 正 樹 木 下 眞 樹 子	小 島 総 一 郎
無所属	佐 藤 茂	



佐藤 茂 4期目 無所属



木下眞樹子 3期目 あすかみらい



阿部 隆之 2期目 令和あいかわ



佐藤 りえ 3期目 公明党



井上 博明 10期目 日本共産党
愛川町議員団



渡辺 基 4期目 あいかわの聲



小島総一郎 7期目 あすかみらい



山中 正樹 5期目 あすかみらい

議会改革推進特別委員会 (委員定数 8人)

◎井 出 一 己	○茅 孝 之
鈴木 信 一	佐 藤 り え
阿 部 隆 之	熊 坂 崇 徳
小 島 総 一 郎	井 上 博 明

広報広聴常任委員会 (委員定数 10人)

◎岸 上 敦 子	○茅 孝 之
玉 利 優	阿 部 隆 之
熊 坂 崇 徳	小 林 敬 子
井 出 一 己	山 中 正 樹
小 島 総 一 郎	井 上 博 明

教育民生常任委員会 (委員定数 8人)

◎阿 部 隆 之	○佐 藤 茂
岸 上 敦 子	玉 利 優
佐 藤 り え	木 下 眞 樹 子
山 中 正 樹	井 上 博 明

令和3年12月15日

2021 G I K A I

令和3年第3回愛川町議会「9月定例会」が、8月31日から9月24日まで、会期25日間（本会議開催6日間）にわたり開催され、令和2年度各会計の決算をはじめ、教育委員会教育長及び委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦に係る意見、条例、補正予算などの13件の町長提出議案と、議員提出議案として国への意見書について2件審議し、全議案を可決しました。

また、11月5日には、令和3年第2回臨時会が開催され、議会の役職改選等を行いました。

人事議案

◎教育委員会教育長の任命
（賛成全員）

任期満了に伴い、引き続き次の方を任命することに同意したものです。
中津在住
佐藤 照明 氏

◎教育委員会委員の任命
（賛成全員）

前任委員の任期満了に伴い、新たに次の方を任命することに同意したものです。
角田在住
篠崎 美和 氏

◎人権擁護委員候補者の推薦に係る意見
（賛成全員）

任期満了に伴い、引き

続き次の方を適任と認めました。
中津在住
引木 和子 氏

中津在住
中村 功 氏

また、欠員となっていた人権擁護委員に次の方を適任と認めました。
田代在住
野口 博史 氏

専決処分の承認

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算(第2号)
（賛成全員）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ8,028万2千円を追加し、一般会計の総額を132億7,479万3千円と



集団接種会場の様子

令和3年第3回9月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
8	31	火	本会議	陳情2件の所管常任委員会への付託 教育委員会教育長任命の採決 教育委員会委員任命の採決 人権擁護委員候補者推薦に係る意見の採決 専決処分の承認 町長提出議案の採決 町長提出議案の説明 議会改革推進特別委員会中間報告
9	2	木	本会議	一般質問（5人）
	3	金	本会議	一般質問（4人）
	8	水	本会議	補正予算議案、事件議案の総括質疑・討論・採決
	9	木	本会議	条例議案及び令和2年度決算議案の会派代表総括質疑委員会分割付託の決定
	14	火	建設常任委員会	付託案件の審査
	15	水	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	16	木	建設常任委員会	付託案件の審査
17	金	教育民生常任委員会	付託案件の審査	
24	金	本会議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決 議員提出議案の説明・質疑・討論・採決	

条例議案

◎愛川町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
（賛成全員）

国家公務員に準じ、新型コロナウイルス感染症から町民等の生命及び健康を保護する緊急の措置に係る作業に従事した職員に支給する「特殊勤務手当」の特例を定めるため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

補正予算

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算(第3号)
（賛成全員）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億4,767万1千円を追加し、一般会計の総額を134億2,246万4千円としたものです。
主な内容として、早急に必要な安全対策が必要と



救出活動用に購入したチェーンソー

判断した4か所の通学路のカラー舗装工事や、熱海市での災害を教訓に、豪雨などによる土砂災害の発生に備え、根切りチェーンソーなど、救出活動に必要な資機材を購入するための費用のほか、貸出図書を紹介した感染予防を図るため、図書館に図書除菌機を整備する経費です。



愛川橋 (半原地内)

事件議案

◎工事請負契約の締結について(令和3年度愛川橋補修工事)(賛成全員)
 ・請負契約金額
 7,200万6,000円
 ・請負契約の相手方
 鈴木土建 株式会社
 工期は契約の締結日から令和4年3月31日まで
 主な工事内容は、床版の補修をはじめ、橋台及び橋脚のコンクリート内部の鉄筋の腐食を抑制するため、表面保護などの施工を行うものです。

個人総括質疑

4日目の9月8日は、補正予算議案に対し、茅孝之議員、岸上敦子議員、玉利優議員、小林敬子議員が質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

議会改革推進特別委員会

議会では、開かれた議会を実現するため、本特別委員会を設置し、議会のあり方や、運営方法などについて調査を行っています。

8月31日の本会議では、渡辺基委員長が、第12回から19回までの会議で行われた協議事項について左記のとおり中間報告を行いました。内容の一部は次のとおりです。



- 増額の詳細について
警防活動事業費増額
- 増額の詳細について
交通安全施設整備事業費増額
- 増額の詳細について
子育て支援センター等運営事業費増額
- 増額の詳細について
道路維持補修経費増額
- 増額の詳細について
図書館運営事業費増額
- 増額の詳細について

協議項目	報告内容
ICT化のさらなる推進のための検証について	タブレット端末や通信サービスについては、段階的に導入を進め、まずは、個人のスマートフォン等を使用してLINEWORKS(ラインワークス)などのコミュニケーションツールを利用していくこととした。
議会モニター制度の導入について	「モニター制度」という言葉にとらわれず、「広報のさらなる推進」に向けた具体的な方法を検討していくことで意見が一致したため、広報広聴常任委員会が主導となり、開かれた議会の実現に向けて、「議会だより」の中でアンケートを実施することとした。
常任委員会の在り方について	9月議会における決算審査の結果を踏まえ、10月に常任委員会を開催し、事務事業評価を行う。そして、評価の結果を提言書(意見書)として町へ提出し、その提言書の内容が次年度の予算でどのように反映されたかの回答を求めることとした。

第2回臨時議会

専決処分の承認

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算(第4号)
 (賛成全員)

歳入歳出それぞれ2,341万5千円を追加し、一般会計の総額を134億4,587万9千円としたものです。

主な内容として、これから対象年齢の12才を迎える子どもたちも新型コロナウイルスウィルスワクチンの接種ができるように、集団接種会場等の運営業務委託料について、専決処分を承認したものです。

補正予算

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算(第5号)
 (賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億1,496万3千円を追加し、一般会計の総額を136億6,084万2千円としたものです。

第20回議会クイズの答えと当選者

前号の議会クイズには20名の応募をいただきました。正解と当選者は次のとおりです。

〈正解〉

- 問1・②第2号
- 問2・③35名
- 問3・③38名

〈当選者〉

- 山本 律子様
- 飯島 清子様
- 新井 玲子様
- 以上3名

議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

TEL 046・285・2111

(内線3792)

会派代表総括質疑

5日目の9月9日は、条例及び令和2年度決算議案に対し、会派代表総括質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

あいかわの聲 (渡辺 基議員)

問 町税の収入未済額が前年度に比べ減少した理由について

町長 現年課税分の滞納整理では、滞納の原因や生活状況等の把握のために、電話催告や滞納者宅への訪問、催告書の送付を実施し、早期解決に努めました。また、滞納繰越分では、プロジェクトチームを中心に徹底した財産調査を行い、預金や給与などの債権の差押え、また、自動車や不動産の公売に着手し、租税債権の確保に努めたものです。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、納付が困難な方への徴収猶予制度の適用や、スマートフォンを用いたキャッシュレス納税制度を導入するなど、納税環境の整備にも努めたことにより、収入未済額の減少につながったものです。



便利！スマホで納税

令和あいかわ (阿部隆之議員)

問 公共施設整備基金が前年度に比べ決算年度中増減高が約10分の1となった理由について

町長 公共施設整備基金への積立では、個別施設計画に基づき、平成30年度の基金創設以来、財政状況をみながら、可能な限り残高の確保に努めてきました。

令和元年度には、当初予算の1億円、9月補正で5千万円、3月補正で1億円の合計で2億5千万円余りを積み立ててきましたが、令和2年度に繰越金に当たる令和元年度決算の実質収支額が前

年度比で1億8千万円余り減の3億9千500万円余りと少なかったことに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う税収の落ち込みなど、収入支出のバランスの中で総合的に検討した結果、2千500万円余りの積立てとなり、令和元年度に比べ約10分の1の積立額となったものです。



適時適切な施設管理に努めています

町長 収入区分のうち、営業収益については、新型コロナウイルス感染症対策として水道料金の減免を実施したことにより、給水収益が消費税抜きで2,751万8千円の減収となったものです。

一方、緊急事態宣言中における工場等の稼働停止や学校でのプールの中止により使用水量が減少したものの、一般家庭の使用水量が増加したことや新設の給水納付金が減少したことにより、営業収益の総額では、3,013万5千円の減となったものです。

次に、営業外収益については、新型コロナウイルス感染症対策水道料金減免に対する一般会計からの補助金として、消費税込みの3,026万9千円の繰入れがあり、営業外収益の総額は2,703万9千円の増となったものです。したがって、収入の総額では前年度と比較すると309万6千

円の減額となったものです。

日本共産党 愛川町議員団 (鈴木信一議員)

問 愛川町職員の特殊勤務手当に関する条例改正の背景について

町長 全国で新型コロナウイルス感染症が急速に拡大したことを受け、各地方公共団体において、特殊勤務手当の特例となる作業場所として、病院等の内部をはじめ、これら施設への移動時の動線上のほかに、車内においても該当することが総務省から示されたことから、本町においても、人事院規則に準じて条例改正を行い、当該特殊勤務手当の特例を定めたものです。



常任委員会での審査

令和2年度事業の決算審議をより詳細に行うため、各常任委員会で8月に現地調査及び事務事業評価を、また、9月14日から17日までは、各事業に対する質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

総務建設常任委員会

8月17日に、役場庁舎非常用発電設備修繕工事や田代運動公園スケートパーク整備事業など、6箇所を現地調査し、事業評価を実施しました。また、9月14日及び16日は各事業に対する質疑を行いました。

現地 8/17
田代運動公園スケートパーク整備事業

【評価】
おおむね良好かつ適正に執行している。

【委員の意見】

安全性、視認性を考えると、看板の設置場所については、もう少し工夫の余地があったと考えます。



田代運動公園

マーケティング推進事業費

質疑9月14日

問 連続ウェブドラマ「移住者★佐助」制作経費の詳細について

【答】 コロナ禍において、都心から地方へのテレワーク移住の流れが活発化する中で、移住対象地域として、視聴者が「リアルな愛川の魅力」を発見できる、全10話の連続ウェブドラマを制作したものです。主な経費の詳細は、スタッフ・出演者の人件費69万1,440円、機材レンタル費44万8,560円など、総額は120万8,357円となっております。



「移住者★佐助」

商工振興管理経費

質疑9月16日

問 経営スクール開催経費の詳細について

【答】 令和2年度は、10月に「ウイズ・コロナ時代のビジネス」、11月に「経済のあり方やコロナ禍に負けない経営」をテーマに据え、専門家を講師に招いたセミナーを開催したものです。経費の詳細は、講師派遣事業者への委託料20万円（2回分）です。

教育民生常任委員会

8月12日に、愛川聖苑待合ホール系統空調機改修工事や小中学校GIGAスクール用端末など、6箇所を現地調査し、事業評価を実施しました。また、9月15日及び17日は各事業に対する質疑を行いました。

現地 8/12
小中学校GIGAスクール用端末貸借について

【評価】

新型コロナウイルス感染症拡大防止等の措置による学校の臨時休業期間中も、午前8時から午後6時30分まで児童の受け入れを行い、手指の消毒や、空気清浄機の活用など、感染防止に最大限努力しました。これにより、



端末機の活用状況を視察（田代小学校）

良好かつ適正に執行している。

【委員の意見】

学校内外においても、すべての児童・生徒が平等に利用できるよう、WiFi環境の整備に努めてください。

質疑9月15日

問 事業の成果について

放課後児童クラブ事業費

【答】 新型コロナウイルス感染症拡大防止等の措置による学校の臨時休業期間中も、午前8時から午後6時30分まで児童の受け入れを行い、手指の消毒や、空気清浄機の活用など、感染防止に最大限努力しました。これにより、

令和2年度の支給対象者は5名で、支給日数平均は7.2日、支給額の平均は4万1,439円で、合計20万7,193円を支給したものです。

質疑9月17日

問 事業の評価について

傷病手当金

児童及び指導員が感染することなく、平常時と同様に、日常の生活指導などを実施することができ、児童の健全育成が図られたものと考えています。

【答】 国民健康保険加入者のうち、企業などから給与の支払いを受けている方が、新型コロナウイルスに感染又は、発熱等の症状により感染が疑われるため、療養により給与等の全部又は一部の支払いを受けることができない期間がある場合、申請により、就労できなかつた一定期間の給与相当額の一部を、国民健康保険の傷病手当金として支給するものです。

討 論

各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

賛成 あいかわの聲 熊坂 崇徳 議員

全議案に賛成の立場から意見と要望を踏まえて討論します。

一般会計決算の歳入では、コロナ禍の中、内陸工業団地など大手企業の景気低迷の影響により、町税が減収となりました。一方、新型コロナウイルス対策として国庫支出金が増となり、自主財源比率は令和元年度の71.5%から令和2年度は49.8%となりました。次に歳出では、款別歳出決算額での民生費が新型コロナウイルス対策費の影響により、全体の51.6%を占めました。今後も少子高齢化社会の中で民生費は増加していくものと予想します。高齢者の方々が住みやすいまちづくりをお願いします。

また、民生費の高齢者生きがい対策事業費では、各種事業が中止となり、老人会の存続を不安視す



あいかわ景気盛リアゲ券交付の様子

る声が聞かれます。現場では、コロナ禍でもできる事業を模索しています。が、次年度に向けてウィズコロナを見据えた有効な活動ができるように老人クラブ連合会と協議をお願いします。

商工振興対策事業費では、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた中小企業、個人事業主に対し「中小企業・個人事業支援金」を支給するとともに、町内店舗で利用できる地域経済振興券「あいかわ景気盛リアゲ券」を配付し、町民の家計負担の軽減につなげたことについて高く評価します。

賛成 令和あいかわ 阿部 隆之 議員

令和2年度は、新型コロナウイルス一色となりましたが、コロナ禍といえども、町政を止めることはできません。そこで、

次の2点に基づき、全議案賛成の立場から提言を交えて討論します。

まず1点目は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する事業を迅速かつ適切に進めることができたのか。そして、2点目は、町長の施政方針で示された「総合計画（後期基本計画）」に掲げた施策の推進につながったのかという点です。

1点目の新型コロナウイルス対策事業では、町民の生活を守るため、水道料金の基本料金4か月分50%減額、ひとり親家庭などへの支援金など、数多くの支援を実施しました。特に町民への次亜塩素酸の無料配布は、手指消毒用アルコール不足

の中で、町民の不安の解消につながったと思います。

次に、2点目の「総合計画（後期基本計画）」の施策の推進については、4つの重点プロジェクトが示されています。

まず、1つ目の重点プロジェクトは、交通、定住に関連した推進です。定住促進事業においては令和2年度の補助金交付の実績は、10件で昨年度と比較して2倍以上の件数となりました。

次に、2つ目の重点プロジェクトは、子ども、健康関連施策の推進です。小中学校の児童・生徒においては、GIGAスクール構想による1人1台のタブレット貸与が早期に実現しました。

次に3つ目の重点プロジェクトは、産業、活躍施策の推進です。観光産業に関しては、山岳美化清掃や首都圏自然歩道管理などを着実に実施でき

たことは、コロナの収束に向けた準備であると思われ評価します。

最後に4つ目の重点プロジェクトは、情報戦略、情報戦略の推進です。情報戦略では、「復活の台地」の配信及びDVD制作は、愛川の現在と本町の歴史を知るうえで大変よい試みであったと大いに評価します。

以上、コロナ禍において大変厳しい財政状況の中でも今までの歩みを止めることなく、着実に前進していることを大いに評価します。



改元記念動画「愛川百年旅」スペシャル版「復活の大地」

賛成 公明党 井出 一己議員

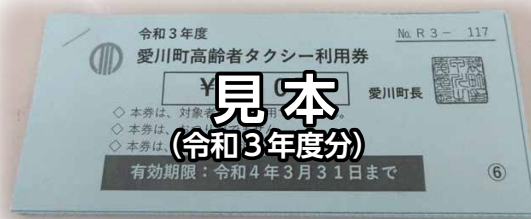
全議案に賛成の立場から討論します。

まずは、新型コロナウイルス感染症に係る事業が財政へ与えた影響から見てみたいと思います。はじめに、歳入では、一律1人10万円の特別定額給付金のほか、地方創生臨時交付金など48億9,600万円余りの増になりました。

次に、歳出では特別定額給付金の事業費や経済対策、住民支援などが増加しており、イベントの中止や縮小、施設の休館や学校の休業による減少を大きく上回り、歳出全体で44億4,400万円の増加となりました。

高齢者福祉では、令和2年度新規事業として開始した高齢者タクシー助成事業は、ホームページや広報紙への掲載、前年度「かなちゃん手形」を購入した85歳以上の方に制度案内を送付しまし

た。また、12月にはひとり暮らし高齢者世帯激励事業の際に訪問するなど、様々な機会を捉え、周知に努め、85歳以上で34名(申請58名)の方が利用されました。通院をはじめ、買物等への外出支援と健康づくりの増進が図られたことを評価します。



高齢者タクシー利用券の見本

令和3年度は利用券5,400円分(1枚:450円)を一括交付します。



※令和3年度の高齢者タクシー等の詳しい内容はQRコードでご確認ください。

林業振興では、町森林組合に対する林業用フォワーダー(積載式集材車両)や竹林整備に必要なウッドチップパーの導入助成で、今までのレンタルに比べ、スケジュール面や作業面において効果的な活用が図られ、樹木の伐採に係る人件費や処理費用の軽減にもつながり、林業経営の効率化につながったことを評価します。



後期高齢者医療会計では、収納率向上に努めたことを評価します。75歳以上の後期高齢者の特性に合わせた医療サービスを紹介サービスと連携・提供するという本制度の趣旨に従っていることから、今後、さらなる健全な事業運営に努めるよう期待します。

賛成 日本共産党愛川町議員団 鈴木 信一議員

各会計決算議案に対し賛成の立場から討論します。

令和2年度における町の決算状況は、前年度比では歳入で約37.5%増の177億6,287万5千円、歳出は約37%増の171億4,208万円となるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く反映するものとなりました。

救急活動事業費では、特に新型コロナウイルス感染症への対応により感染リスクの極めて高い救急隊員らの活動と傷病者の命を守るために、傷病者を搬送する際に使用する担架の修繕や酸素ボンベを修理したほか、救急車除染システムを導入し、全ての救急車に設置するなど、万全の措置を図ることは、何よりも命を大切にすることを最優先にした取り組みです。



救急車に搭載した除染システム



新型コロナウイルス感染症河川パトロール事業費では、感染者数が増加した本町において、町外から多くの方が中津川に訪れることに対し、地元住民からは大変心配する声が多く寄せられました。この事業は、こうし

た声に配慮した上で国の交付金を有効活用したもので、評価します。

新型コロナウイルス感染症対策 必要保護児童給食援助事業費では、昨年の4月、5月と臨時休校の影響で、就学援助費のうち学校給食費2か月分が不支給となりました。そこで、家庭や学童クラブなどで過ごす児童・生徒の昼食費用が増えたことに対し、町独自に必要保護児童・生徒を対象に給食援助費を支給したことは、困窮する家庭への温かい配慮として高く評価します。


国民健康保険特別会計では、コロナ禍において多くの住民が日々の生活に苦しんでいる中、国の緊急的な保険税減免制度にいち早く取り組み、丁寧に周知を図ったことで、近隣市町村と比べても割合的には大変多くの方がこの制度の適用により救われたのではないかと感じています。

令和2年度決算を認定

令和2年度 各会計決算額

会計		歳入	歳出
一般会計		177億6,287万5千円	171億4,208万円
特別会計	国民健康保険	47億4,518万円	47億2,870万5千円
	後期高齢者療 養	5億1,837万8千円	4億9,560万5千円
	介護保険	31億2,941万2千円	31億659万3千円
企業会計	公共下水道業	16億5,638万2千円	19億6,089万2千円
	水道事業	7億2,263万2千円	8億2,767万3千円
合計		285億3,485万9千円	282億6,154万8千円

- ◎ 一般会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
(以上、賛成全員)
- ◎ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
(賛成12人、反対3人)
- ◎ 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
- ◎ 水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
(以上、賛成全員)



決算の詳細については、スマートフォンからでもご覧いただけますので、左記のQRコードをご利用ください。(※広報あいかわのページに移動します)

(右から)井上副議長、馬場議長、小野澤町長、佐藤りえ総務建設常任委員会委員長、熊坂教育民生常任委員会委員長



8月12日及び17日に教育民生常任委員会及び総務建設常任委員会所管事務において令和2年度事業の現地調査等を実施し、事務事業評価を行いました。その結果について、9月28日に小野澤町長へ報告書を提出しました。

事務事業評価 結果報告

受理番号	件名	陳情者	付託先	審査結果
4	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	沖縄県那覇市おもろまち4丁目17番11号1階「新しい提案」実行委員会 責任者 安里 長従	-	机上配付
5	義務教育に係る国による財源確保、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する陳情	相模原市中央区富士見6丁目6番13号 湘北教職員組合 執行委員長 山口 智子	教育民生 常任委員会	採択
6	生活保護級地区分の見直しを求める陳情	愛川町中津 3860-1 熊坂 徹	教育民生 常任委員会	採択

陳情のゆくえ

国へ意見書2件を提出

※意見書の内容は一部抜粋して掲載

◎義務教育に係る国による財源確保、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する意見書の提出
(賛成全員)



義務教育に係る国による財源確保、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する意見書

1 教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償制度を継続すること。

2 小学校の35人以下学級を計画的に進め、中学校での35人以下学級を早急に策定すること。また、30人以下学級の実現にむけて検討すること。

3 学校の働き方改革・長時間労働の是正を実現し、教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、加配の配置増など教職員定数改善を推進すること。また、業務をアシスタントするためのスクールサポートスタッフを全校配置すること。

4 子どもたちの心に寄り添うためのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月24日

内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣 殿

◎生活保護級地区分の見直しを求めめる意見書の提出
(賛成全員)

生活保護級地区分の見直しを求めめる意見書

現行の級地区分が実態と著しく乖離しているとして、今日もなお全国の多くの自治体から見直しを求めめる要望が厚生労働省に寄せられている。厚生労働省もこうした現実を認識して、級地区分見直しの作業に着手し、去る6月25日に行われた社会保障審議会生活保護基準部会では、民間のシンクタンクに委託した調査研究を基に、生活保護基準における級地区分の検証が行われた。

生活保護の級地区分は、前回の見直しから30年以上が経過し、実態に合わないものになっている。特に、県央地域に位置する本町は近隣自治体との格差が著しく、是正を求めめる声も多い。

よって、政府におかれては、こうした格差を是正し、本町の生活実態に即した級地区分への見直しを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月24日

内閣総理大臣・厚生労働大臣 殿

※級地区分とは、当該市町村の人口規模・必要とされる生計費・物価の地域差・消費水準・生活様式などを勘案した地域の区分

級地区分	該当市町村
1級地-1	横浜市、川崎市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、大和市、葉山町
1級地-2	横須賀市、平塚市、小田原市、茅ヶ崎市、相模原市、三浦市、秦野市、厚木市、座間市
2級地-1	伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、寒川町、大磯町、二宮町、大井町、松田町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町
2級地-2	該当なし
3級地-1	愛川町、中井町、山北町、清川村



上記のQRコードを読み込むと、意見書の全文をご覧いただけます

令和3年第3回（9月）定例会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第50号	教育委員会教育長の任命について	同意
町長提出 第51号	教育委員会委員の任命について	同意
町長提出 第52号	愛川町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
町長提出 第53号	愛川町手数料条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
町長提出 第54号	令和2年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
町長提出 第55号	令和2年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
町長提出 第57号	令和2年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
町長提出 第58号	令和2年度愛川町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定
町長提出 第59号	令和2年度愛川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定
町長提出 第60号	専決処分の承認について（令和3年度愛川町一般会計補正予算（第2号））	承認
町長提出 第61号	令和3年度愛川町一般会計補正予算（第3号）	可決
町長提出 第62号	工事請負契約の締結について（令和3年度愛川橋補修工事）	可決
陳第5号	義務教育に係る国による財源確保、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する陳情	採択
陳第6号	生活保護級地区分の見直しを求める陳情	採択
議員提出 第3号	義務教育に係る国による財源確保、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する意見書の提出について	可決
議員提出 第4号	生活保護級地区分の見直しを求める意見書の提出について	可決

●意見が分かれた議案等

○…賛成、●…反対 ※所属会派は令和3年9月24日現在

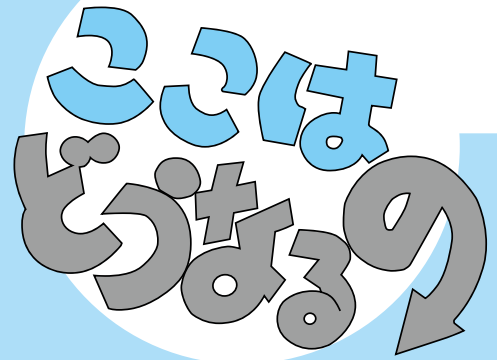
議案番号	議員名 議案の件名	あいかわの聲					公明党			日本共産党 愛川町議員団			令和 あいかわ			無所属		議決結果
		渡辺 基	山中 正樹	木下 真樹子	熊坂 崇徳	玉利 優	佐藤 りえ	井出 一己	岸上 敦子	井上 博明	小林 敬子	鈴木 信一	阿部 隆之	馬場 司	茅 孝之	小島 総一郎	佐藤 茂	
町長提出 第56号	令和2年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	加 わ り ま せ ん 議 長 は 採 決 に 関 し は 議 決 に あ ら ず と し て 議 決 に あ ら ず と し て	○	○	○	可決

令和3年第2回（11月）臨時会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第63号	専決処分の承認について（令和3年度愛川町一般会計補正予算（第4号））	承認
町長提出 第64号	令和3年度愛川町一般会計補正予算（第5号）	可決
町長提出 第65号	監査委員の選任について	同意

一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧になれます。なお、9月定例会の会議録は、12月中には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にあるQRコードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でもご覧になれます。

茅 孝之 議員 P.13

・ボランティア団体活動の支援策について ほか

小林 敬子 議員 P.16

・住宅省エネルギー対策について ほか

鈴木 信一 議員 P.14

・町職員の多忙化解消について ほか

井出 一己 議員 P.16

・「プッシュ型行政サービス」の推進について ほか

阿部 隆之 議員 P.14

・土砂等による土地の埋め立て等について ほか

玉利 優 議員 P.17

・職員の離職について ほか

岸上 敦子 議員 P.15

・带状疱疹の予防について ほか

熊坂 崇徳 議員 P.17

・消防団活動の現状について ほか

渡辺 基 議員 P.15

・平山下平線整備事業について ほか



©愛川町

町長 安心してボランティア活動ができるように、ふれあい保険の整備のほか、住民提案型協働事業など協働のまちづくりに向けた様々な仕組みづくりを行い、その周知や活用に努めています。

保険整備や仕組み周知と活用に努力

問 ボランティア活動に参加する方を引き続き支援しながら、町民との協働のまちづくりを今後も推進していく必要があると考えますが、現在の取り組み状況について伺います。

ボランティア活動参加支援と現状



茅 孝之 議員

自治会加入率の向上に向けて

問 向こう三軒両隣という言葉があるように、一番身近なコミュニティである自治会は、伝統文化の継承や子ども達の育成、防犯や災害時の助け合いなど重要な役割を持っていきます。そこで、加入率向上に向けた取り組みをさらに推進していくべきだと考えますが、本町の考えを伺います。

時代に合った運営区長会と強く連携

町長 町の区長会と連携し、加入促進強化月間を設け、未加入世帯への訪

問や啓発チラシの配付などを行っているほか、町内の商店などで使用できるクーポン券を掲載した自治会ハンドブックを作成し、加入促進に努めています。

自治会には防犯や防災面において、大きな役割やメリットがありますので、若い世代の加入者を増やすためにも、今の時代に合った運営方法や事業の在り方など、区長会と模索をしながら、自治会加入率の向上につながるよう、粘り強く努めていきたいと考えています。



自治会への加入促進に努めます



町職員の多忙化 解消の取り組み



鈴木 信一 議員

問

近年、住民要望が多様化しており、特にコロナ禍では、町職員の業務量は確実に増えていると思います。そこで、職員の多忙化を解消するため、町の取り組みについて伺います。

時間外勤務など把握 適正配置に努める

町長 各部署の業務量の変化や時間外勤務の状況、職員の健康状態などを把握するとともに、再任用職員の雇用など柔軟にバランスの取れた人員配置に努め、多忙化の解消につなげていきたいと考えています。



夜の役場庁舎の様子

津久井農場計画について

問

本年7月3日、盛土部分が原因と見られる大規模な土石流が熱海市で発生し、甚大な被害を及ぼしました。この災害の映像を見た半原川北区桜沢周辺の住民からは、改めてこの計画の中止を求める声が多く寄せられました。そこで、この町民の声に対する町の受け止めとその対応について伺います。

審査基準等見直し要請 相模原市と連携し対応

町長 国の一元的な法規制の必要性をはじめ、県においても許可や審査に係る基準等について見直しの検討をさせていただきよう、県などに対して強く要望したところです。盛土造成に関する許可権者となる県や相模原市と連携を密にし、引き続き情報収集を行い、地域住民の皆さんが安全で安心して生活ができるようしっかりと取り組んでいきます。

「ESCO事業」※ 空調設備の課題 改修実施の事例



阿部 隆之 議員

問

町の公共施設個別施設計画では、予防保全を推進するとされていますが、ESCO事業等の新たな事業を含めた空調設備の大規模改修を実施した事例があるのか伺います。

修繕改修等対応 一斉更新の事例無

管財契約課長 故障した箇所の修繕または改修等により対応している状況であり、省エネルギー対策や温室効果ガスの削減などを目的として、設備の空調機を一斉更新するなど大規模に改修を行った事例はありません。

「農地改良の対応」

悪質な埋立防止対策の取り組み

問

農業目的で借りた土地を農地改良と称して掘削し、工事残土等を処分する目的で埋立て、掘削した良質な耕土の採取、転売がされているという事例を耳にしますが、本町における農地改良の対応について伺います。

土砂条例を改正 埋立防止対策に取組

町長 本町の土砂条例においては、農地法に基づ

く農地造成は条例の適用対象外としておりますが、今後、相模原市や厚木市など先進市における規定の内容等を参考にしながら、できる限り早期に農地についても一定面積以上の土砂の埋立て等を行う場合は、土砂条例の許可対象とするよう条例を改正し、農地改良の名を借りた悪質な埋立ての防止対策に取り組んでいきたいと考えています。

※ESCO事業とは…太陽光発電などの改修工事にかかった費用を、その省エネ効果により得た光熱水費の削減分で賄うこと。



町長 2016年3月から水痘ワクチンが任意接種として带状疱疹予防にも使用できることが承認されています。また、現在は、厚生科学審議会の予防接種基本方針部会のワクチン評価に関する小委員会で、ワクチンの効果などについて検討されていることから、引き続き、国の動向を注視していきたいと考えています。

ワクチン任意接種 国の動向を注視

問 带状疱疹の予防ワクチン接種費用を助成する考えについて伺います。

带状疱疹の予防 接種費用助成へ



岸上 敦子 議員

令和3年5月20日から
避難指示で必ず避難
避難勧告は廃止です

警戒レベル	避難情報	避難行動
5	緊急安全確保	災害発生情報
4	避難指示	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者等避難	避難準備・高齢者等避難開始
2	大規模水・高潮注意報	大規模水・高潮注意報(気象庁)
1	早期注意情報	早期注意情報(気象庁)

内閣府(防災担当)・消防庁

内閣府のガイドライン

町長 既存の避難所運営の状況確認や災害時要援護者の名簿、民生委員からの情報などを基に、配

実態など再度精査 円滑な運営取組む

町長 難所の運営ができるよう取り組んでいきたいと考えています。

問 内閣府は福祉避難所の運営に関するガイドラインを改正しましたが、新しい福祉避難所の受け入れ制度に対する今後の取り組みについて伺います。

福祉避難所の受け入れ体制

慮が必要な高齢者や障がい者などの実態を再度精査した上で検討しています。

また、受け入れに必要な備品や消耗品などを充実にするとともに、福祉避難所の設置運営に関するマニュアルの作成や訓練などを行い、円滑に避難所の運営ができるよう

町長 整備後の走行時間の短縮効果や走行経費の減少、交通事故の減少について、事業効果の優越性が確認できましたので、まずは第1工区の完成を目指し、第2工区以降は町の財政状況などをみながら、総合的に判断して、事業を推進していきます。

効果の優越性を確認 総合的に判断し推進

問 平山下平線整備事業は、平成30年度に費用便益調査(※)が行われていますが、その結果からどのような評価を行っているのか伺います。

平山下平線事業 費用をどう評価



渡辺 基 議員

※費用便益調査とは：その事業によって得られる費用対効果の大きさを計ること。

管理システムの導入 汎用性等の調査研究

町長 道路台帳は、道路法の規定により、道路管理者が道路の基礎的な情報を調査と図面をもって調製・保管することが義務づけられています。このうち調査関係につ

問 道路台帳のデジタル化及び道路台帳管理システムの導入に向けた現在の進捗状況について伺います。

道路台帳整備の進捗状況

いては、平成23年度にデジタル化しました。一方、図面については、デジタル図への転換や運用するための地理情報システム(GIS)を活用した管理システムの導入は、多額の費用を要するために、既に庁内で導入している地理情報システムとの統合の可否や汎用性なども調査・研究をしながら、効率化や経費の節減などを考慮し、導入時期について検討しています。



平山橋付近の様子

省エネルギー対策
住宅改修費の補助




小林 敬子 議員

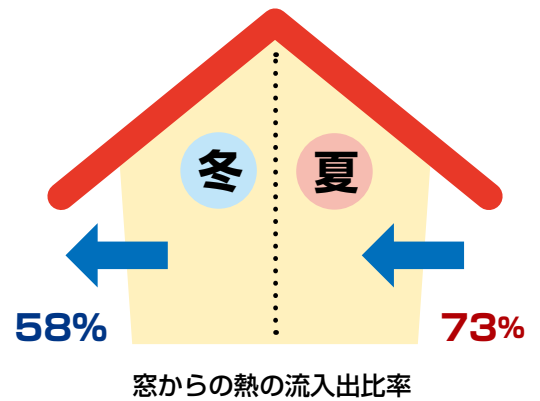
問 脱炭素社会を推進するため、既存住宅の省エネ改修費補助に取り組むべきと考えますが、本町の考えについて伺います。

蓄電池などに助成利用状況の検証必要

町長 本年度より、住宅用蓄電池システムなどのスマートエネルギー設備導入費に対する補助を行っています。既存住宅の省エネ改修費補助については、国・県がそれぞれ補助制度を設けていることから、その活用実績や本町の補助制度の利用状況などの検証が必要と考えられています。

暑さ寒さの原因のほとんどは「窓」

夏は外からの熱 73%が窓から入る
冬は熱が 58%窓から逃げる



生活保護級地の見直し

問 生活保護の内容に著しく不均衡が生じていることを解消するため、級地の見直しを求めていく本町の考えを伺います。

町長 生活保護制度には、地域における物価等の違いにより生活費に地域差が生じることを踏まえ、生活保護法に基づく級地制度が設けられています。

近隣との格差あり 国へ要望していく

町長 現行の級地区分は見直しから30年以上が経過しており、自治体等からの級地区分の見直しについての要望を受け、国では、級地区分の検証と、制度の在り方などを検討しています。

県央地域に位置する本町の級地区分は、近隣自治体と同じ生活圏にありながら現状にそぐわないことから、引き続き級地区分の見直しを国に要望していきたいと考えています。

通学路の安全対策
高田橋交差点付近




井出 一己 議員

問 県道63号から相模原方面に右折する車両の影響で、交通渋滞が日常化している高田橋交差点付近の通学児童等の安全対策を伺います。

通学路一部変更 車両通行の抑制

教育長 児童が車両の通過を待たなければならぬ状況が発生したため、通学路を示す看板を設置したほか、車両が通行しない水路際に変更しました。

今後、通学時間帯の車両通行の抑制看板の増設の検討など安全確保に努めます。

「プッシュ型行政サービス」
現状と推進の考え

問 行政側から住民に必要な情報を積極的に知らせ、対象者が漏れなく利用できるようにするプッシュ型行政サービスの仕組みは、デジタル技術を活用し、申請忘れ等の課題解消に有効と言われていますが、本町の現状と推進の考えについて伺います。

口や広報での周知のほか、各施設、関係機関への案内チラシの配架、更に公式アカウントやメール配信サービスなどのデジタル媒体も活用しながら情報発信をしています。

しかし、国が運用しているマイナポータル(※)やLINE等のサービスを使うには、多額のシステム構築費用が必要なほか、運営体制や仕様の精査が課題であることから、様々な角度から検証が必要と認識しています。

システム構築に課題
検証が必要と認識

町長 行政サービスの多くは申請手続きが基本です。本町では、役場の窓

※マイナポータルとは…政府が運営するオンラインサービスで、子育てや介護をはじめとする、行政手続の検索やオンライン申請がワンストップでできること。



高田橋交差点付近の様子
(午前7時30分頃撮影)

町長 働き方改革の推進などにより、多様な働き方が可能となつている現代社会において、職員個々の価値観の多様化により、早期退職者が増加する傾向にあります。適正な人員配置に努め、働きやすい職場環境の向上に引き続き努力していきたくと考えています。

**多様化する価値観
職場環境向上に努力**



教育長 学校教育において社会規範の遵守について適切な指導を行うことは極めて重要なことであり、学校で定めるきまりは教育的意義を有していることを認識しています。

生徒の生活実態や保護者の考え方など、社会の状況に照らし合わせて見直しを行いながら、児童・生徒たちが自主的に守ることができるよう、指導体制を整えていきたいと考えています。

町長 1回目の緊急事態宣言発出直後に、児童扶養手当支給対象世帯に対して、1世帯当たり2万円を支給したほか、本年度は愛川ブランド認定品と交換できる応援券の配付をしています。今後もコロナ禍におけるひとり親世帯の生活状況の把握に努め、支援が必要な時には、適切な対応を図っていきます。

**本町独自の支援策
引換券や応援券配付**



水防訓練の様子

町長 消防団は「自らの地域は自らで守る」といった精神に基づき、地域防災力の中核として町民の命と財産を守るために、地域に密着した活動をしています。

また、団員教育に関わる訓練や研修などは、規模の縮小や屋外での実施を徹底するなど感染防止対策を講じた上で、時勢を捉えた技術の習得にも努めています。

問 最近、公務員の退職者が増えているとの報道がされていますが、本町の現状と課題について伺います。

**町職員の退職
現状と課題**



玉利 優 議員

問 最近、学校の校則やきまりについて、報道機関により数多く取り上げられていますが、本町における学校の校則やきまりについて伺います。

小中学校の校則やきまり

学校は、心身の発達過程にある児童・生徒の集団活動の場であることから、各学校が必要かつ合理的な範囲内できまりを定めています。今後も引き続き、児童・生徒の生活実態や保護者の考え方など、社会の状況に照らし合わせて見直しを行いながら、児童・生徒たちが自主的に守ることができるよう、指導体制を整えていきたいと考えています。

問 長引くコロナ禍における、ひとり親世帯に係る本町独自の支援策について伺います。

**長引くコロナ禍
ひとり親世帯支援**



熊坂 崇徳 議員

問 緊急事態宣言やまん延防止等の措置により、消防団も日常の訓練や活動が少なくなっています。そこで、コロナ禍における消防団活動の現状について伺います。

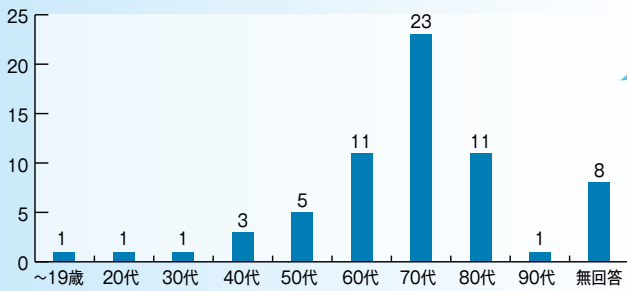
緊急事態宣言中の消防団活動

こうした中で、昨年来新型コロナウイルス感染症の拡大により、出初め式などが中止となりましたが、日頃からポンプや器具の点検作業のほか、近年の大雨による災害に備えるために、本年4月には感染対策に配慮しながら、全団員を対象とした水防訓練を行いました。また、団員教育に関わる訓練や研修などは、規模の縮小や屋外での実施を徹底するなど感染防止対策を講じた上で、時勢を捉えた技術の習得にも努めています。

議会だよりあいかわ 第170号掲載 「アンケート」集計結果

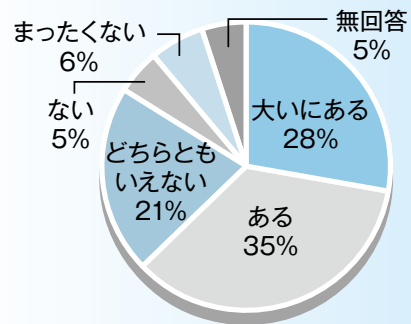
令和3年8月15日発行の議会だよりの紙面を利用して実施したアンケートには、65名の方から回答をいただきました。主な結果は次のとおりです。

回答者年齢分布



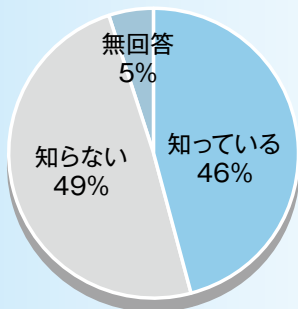
10代から90代まで、幅広い年齢層の方から回答をいただきました。60代から80代の方が多く、全体の約70%を占めています。

議会に興味・関心はありますか



議会に興味・関心のある方は60%以上で、このうち95%の方が「議会だより」から議会の情報を得ているとのことでした。一方で「興味がない」と回答された方からも、「議員数が多い」といったご意見や「もっと住民の声を聴いてほしい」などのご要望をいただきました。

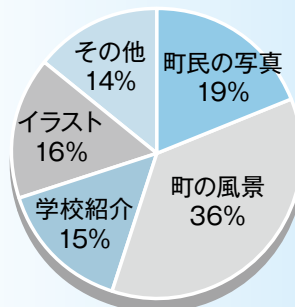
本会議の様子がインターネット配信されていることを知っていますか



この質問に対しては「インターネット環境がない」「その用語の意味もわからない」といったご意見もありました。また、議会傍聴については「傍聴できることを知らなかった」という方をはじめ、傍聴したことがない方が63%を占めました。コロナ禍で、傍聴者数を制限する場合がありますが、開かれた議会を目指し、情報発信の方法を検討していきたいと思えます。

「中学校美術部の表紙がとてもよかった」「赤ちゃんや子どもの笑顔」「高齢者の元気な活動の様子」「コロナ禍で暗い世の中なので、明るく笑顔になるもの」「もっと議会にふさわしく落ち着いたもの」など、さまざまなご意見をいただきました。皆さまに親んでもらえるよう、より一層工夫していきます。

議会だよりはどんな表紙がいいですか



議員に期待することTOP3

- 1位 町政運営のチェック機能
- 2位 町民からの意見や要望の聞き取り
- 3位 積極的な情報発信

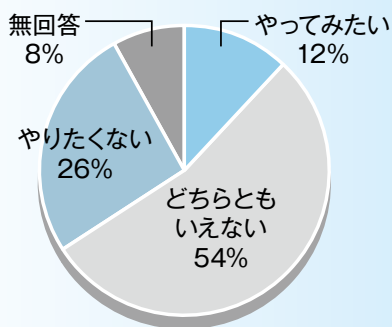


今後、載せてほしいこと

- ・日常の議員活動のひとこま
- ・アンケート結果の公表 など

議会モニター制度に関する質問に対しては、「どちらともいえない」が半数以上を占め、その理由は「アンケートだけならよい」「傍聴だけならよい」など、内容によってはやってもいいという回答が多く見受けられました。この結果を参考に、今後、モニター制度の実施の方向性を協議していきます。

議会モニターをやってみたいと思いますか



ご要望が多かった件についてお答えします

- Q. 議会だよりの横文字や専門的な言葉に説明をつけてもらえないか？**
A. 必要に応じて適宜、語句の注釈をつけているところではありますが、今後はさらに紙面の許す限り、横文字（カタカナ）の用語などに注釈をつけるように心がけていきます。
- Q. コロナに関する情報を掲載してほしい**
A. 最新の情報につきましては県のホームページ、その他町の対策等については広報あいかわ等に掲載しておりますので、そちらをご覧くださいませよう願いたします。一日も早くコロナが収束することを願ひ、議会といたしましても尽力していきますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

紙面の都合ですべてをご紹介できませんでしたが、このほかにも励ましのお言葉、厳しいお言葉、たくさんのご意見・ご要望などをいただきました。すべてをしっかりと受け止め、今後の議会だよりや議会運営に可能な限り反映させていただきます。

なお、アンケートの集計結果は、ホームページにも掲載しています。

ご協力ありがとうございました。



第21回 議会クイズ

- 問1** 令和3年第2回臨時会は、何月何日に開かれたでしょうか？
 ①11月3日 ②11月4日 ③11月5日
- 問2** 議決一覧表の中で生活保護級地区分の見直しを求める意見書の提出についての議案番号はどれでしょうか？
 ①陳情第4号 ②町長提出第4号 ③議員提出第4号
- 問3** 「アンケート」集計結果で本会議の様子がインターネット配信されていることを知っていると回答された方は何%でしょうか？
 ①46% ②56% ③66%



クイズの答えはこの議会だよりのどこかにあります。正解者の中から抽選で3名の方に商品券をお贈りします♪たくさんのご応募をお待ちしています！

※第20回クイズの答えと当選者はP.5に記載してあります。

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また議会だよりの感想（表紙や紙面の見やすさなど）を必ずご記入のうえ下記のいずれかの方法でご応募ください。
 ☆正解と当選者は次号で発表します。

- 《しめきり》 12月28日（火）（郵送の場合は当日消印有効）
- 《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局
 ●ファクスの場合 046-286-5021
 ●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp
 ●オンラインの場合 右記のQRコードを活用して、応募ができます。





「あいかわ・ほっこり写真館」



今号の表紙は、議員が撮影した写真で構成しました。
 町民皆さんの気持ちが和むような日常のほっこりする写真を、
 議員が自ら撮ろうということで企画したものです。
 議会クイズと一緒に、写真の感想もお寄せいただければ幸いです。



咲きほこる赤い彼岸花



プルメリアの花(自宅)



陶器の作品展(古民家山十郎)



神殿の天井画(中津神社)



いつも忘れず顔を出す
フウセンカズラ



ロバのダニエル君 朝のお散歩



議場に傍聴に来てね!



ねむいニャー(うちの猫)



メダカさん何を見ているの?
私、それとも青空?

◎議会クイズは19ページに掲載しています。

委員長 阿部 隆之
 副委員長 小林 敬子
 委員 岸上 敦子
 委員 茅 孝之
 委員 鈴木 信一
 委員 佐藤 りえ
 委員 玉利 優
 委員 熊坂 崇徳
 委員 木下 眞樹子
 委員 山中 正樹

広報広聴常任委員会



今回は広報広聴常任委員会の委員が中心となり、「心温まる」写真を持ち寄って表紙を作りました。ひとつのテーマでもさまざまな捉え方があることがお分かりいただけるかと思えます。
 今号は、現委員が作る最後の議会だよりとなりました。この2年間は、中学校の美術部の作品を掲載するなど、親しみやすい表紙作りを心掛けてきました。これを機に皆さまに議会を身近に感じていただければ幸いです。
 2年間ありがとうございました。

編集後記